令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教師教育制度論

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　次の２～３頁に掲げた文章を読み、次の１～３の問いに解答しなさい。

１．傍線部①について、「この問題は先の問題と対称形に見えるかもしれませんが、そうではありません。」とあるが、それはどういうことか説明しなさい。

２．傍線部②の「カセット効果」とはどういうものか。あなたの研究分野で使う用語を具体例としてあげながら説明しなさい。

３．傍線部③で、著者は、「このような日本的展開自体に関心を持つことが必要だ」と述べているが、ここでいう「日本的展開」とはどういうことか。また、こうした著者の主張があなたの研究にどのような示唆を与えうるか、具体的に論じなさい。

（菊谷剛彦『日本人の思考―ニッポンの大学教育から習慣を読みとく』ちくま新書、二〇二二年、六九―七五頁）

問題２　学校教員には、スペシャリストとしての側面とゼネラリストとしての側面があります。教職の特徴を踏まえ、両者の関係について、700 字以上 1,000 字以内で論じなさい。

問題３　下記の 5 つの用語のうち、３つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記のこと。

１. 主務教諭
２. 教師のバーンアウト
３. 戦後日本における教員養成に関する 2 大原則
４. 教員養成コアカリキュラム
５. 文化資本

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学校経営論

（２５０点満点）

以下の問題１～３に答えなさい。

問題１　次の２～３頁に掲げた文章を読み、次の１～３の問いに解答しなさい。

１．傍線部①について、「この問題は先の問題と対称形に見えるかもしれませんが、そうではありません。」とあるが、それはどういうことか説明しなさい。

２．傍線部②の「カセット効果」とはどういうものか。あなたの研究分野で使う用語を具体例としてあげながら説明しなさい。

３．傍線部③で、著者は、「このような日本的展開自体に関心を持つことが必要だ」と述べているが、ここでいう「日本的展開」とはどういうことか。また、こうした著者の主張があなたの研究にどのような示唆を与えうるか、具体的に論じなさい。

（苅谷剛彦『日本人の思考―ニッポンの大学教育から習性を読みとく』ちくま新書、二〇一五年、八九―七五頁）

問題２　校長の専門性および校長のリーダーシップについて、教育経営学ではいかなる議論が行われてきたか。その議論の経過をまとめた上で、近年の校長の学校経営から具体例を１つあげて、課題について論じなさい。

問題３　学校経営論に関する以下の 4 つの用語のうち、2 つを選んでその意味を説明しなさい。またその用語に関わる課題あるいは論点について、具体例を交えて論じなさい（選択した用語について、その番号を明記すること）。

1. 標準授業時数
2. Professional Learning Community
3. 校長公募制
4. 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

産業教育

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　現代日本社会における社会問題を具体的に記述し、教育との関連について論じなさい。

問題２　いわゆる後期中等教育多様化政策の意義および限界について、日本の教育と雇用との接続関係の観点から総合的に述べよ。

問題３　次の５つの用語のうち、３つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. 産業革命
2. 職業安定法
3. 能力主義管理
4. フリーター
5. 職業教育

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育社会学

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　現代日本における社会問題を具体的に記述し，教育との関連について論じなさい。

問題２　家族に関連する理論や概念を１つ取り上げ，その概要・特徴・意義を論述しなさい。

問題３　次の語句の中から，２つを選び説明しなさい（選択した番号を解答用紙に明記すること）。

①　フィールドワーク　　②　包摂と排除

③　グラウンデッド・セオリー・アプローチ　　④　スティグマ

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

視知覚認知過程論

（２５０点満点）

以下のすべての問題に答えなさい。

問題１　基礎的な心理学・神経科学的知見が、学習支援や教育実践に対してどのように貢献し得るか。貢献し得る基礎的知見の例を１つ挙げて説明しなさい。さらに、それが果たし得る貢献とその限界について、自身の考えを述べなさい。

問題２　次の５つの用語の中から３つを選んで、それぞれ簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記のこと。

１．アフォーダンス（affordances）
２．馴化・脱馴化法（habituation-dishabituation method）
３．心理的不応期（psychological refractory period）
４．セルアッセンブリ（cell assembly）
５．非感性的補完（amodal completion）

問題３　処理資源（注意資源）には限界があると考えられている。その限界を示す代表的な現象を１つ挙げ、その現象について説明しなさい。また、処理資源の利用可能性や配分に影響すると考えられる要因を２つ挙げ、それらの影響を検討する実験計画の概要を述べなさい。特に、要因計画における参加者の割当方法について、その理由を説明すること。

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

認知・動機づけ論

（２５０点満点）

以下のすべての問題に答えなさい。

問題１　教育現場において質問紙調査研究を行う上で注意すべき点、および、当該方法論の限界について自身の考えを述べなさい。

問題２　以下の用語の中から２つを選び解説しなさい。

1. ピグマリオン効果(Pygmalion effect)
2. 自己効力感 (Self-efficacy)
3. 代表性ヒューリスティクス(Representativeness heuristics)

問題３　学習に対する内発的動機づけや興味などを育むために重要な環境・文脈要因について、既存の心理学的概念を参照しつつ論じなさい。

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

発達心理学

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　研究が現場の課題解決や現象理解に役立たないという「教育心理学の不毛性」と呼ばれる問題が、しばしば心理学界で取り上げられてきた。この問題をどのように考え、解決していくために研究者に求められることは何か、あなたの考えを述べなさい。

問題２　以下の６つの用語から３つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

（１）ゲシュタルト心理学（Gestalt psychology）
（２）遊びの余暇論（Theory of play as leisure）
（３）頭足人画（Tadpole）
（４）ライフサイクル論（Life cycle theory）
（５）脱中心化（Decentralization）
（６）児童虐待（Child abuse）

問題３　人間の発達の１つの特徴として、他の動物に比べ、長い思春期をもつことがあげられる。この思春期の存在が、人間にもたらしたメリット・デメリットとしてどのようなことが考えられるかを述べなさい。

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

福祉臨床心理学

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1

インタビュー調査を実施するにあたり，研究参加者との関係性や，調査によって生じうる負担を踏まえ，研究者が考慮すべき研究倫理上の事項について整理して論じなさい。

問題 2

次の用語の中から 3 つを選び，簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。（それぞれ 100 字以内）

1 自己実現傾向（self-actualizing tendency）
2 構成概念妥当性
3 セルフスティグマ
4 社会的カモフラージュ
5 理論的飽和
6 二重共感問題（double empathy problem）

問題 3

社会的に周縁化された人々への心理学的理解や支援を考える際には，従来の心理学が前提としてきた人間像や「正常性」，研究方法，支援のあり方を問い直すことが必要となる。自身の研究関心を含む，心理学に関連するテーマを一つ設定し，どのような前提を，なぜ問い直す必要があるのかを具体的に論じなさい。

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

多元文化教育論

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　次の問いの中から２問を選択して解答しなさい。選択した番号を明記のこと。

１．AI 翻訳の進化が著しい一方で、話者の少ない言語や存続の危機に瀕している言語については、商業的利益が少ないために技術開発が十分に行われず、結果的にこれらの言語がますます危機的な状況に追いやられているという指摘があります。あなたは、このことを解決すべき問題だと考えますか。解決すべき問題であると考える場合も、そうではないと考える場合も、その理由を示しながら、あなたの考えを述べなさい。また、解決の方法があると考える場合には、どのような方法が考えられるかについても言及しなさい。

２．言語教育において、教師と学習者がそれぞれ生成 AI を活用しうる場面と、その際の留意点について、外国語教育研究の知見を踏まえて論じなさい。その際、具体例を挙げながら、生成 AI の活用が学習過程および学習者の主体性に与える影響について考察すること。

３．留学生を受け入れる大学において、留学生の言語面および生活面での適応に関して、受け入れ側が配慮すべき点について論じなさい。その際、言語教育、留学生教育・支援、異文化適応研究等に関する知見を踏まえ、具体例を挙げながら述べること。

問題２　次の５つの用語のうち２つを選んで、それぞれについて具体例を挙げながら説明しなさい。選択した番号を明記のこと。

１．複言語・複文化主義
２．学習者オートノミー
３．異文化間能力
４．社会文化的適応
５．ソーシャル・サポート

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

職業能力形成論

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　現代日本における社会問題を具体的に記述し、教育との関連について論じなさい。

問題２　日本企業で労働災害としての過労死・過労自死が発生する要因を、雇用管理の点から考察しなさい。その際、職能資格制度における能力主義と目標管理制度としてあらわれる成果主義のそれぞれの内容を具体的に説明し、これらの管理の特徴を示したうえで論じること。

問題３　次の事項のなかから３つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

① M字型カーブ
② OJT
③ QC 活動
④ 整理解雇の四要件
⑤ ディーセント・ワーク

令和９（2027）年度 大学院教育学院修士課程 入学試験問題

高等継続教育

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　別紙にある課題文１を読み、以下の問に答えなさい。

問　筆者の政治教育に関する論をふまえ、現代社会における生涯学習の課題について論じなさい。

問題２　別紙にある課題文２を読み、以下の問に答えなさい。

問　下線部１、下線部２に関して、日本の大学入学資格と大学入学者選抜の関係を整理し、その特質、課題を述べなさい。

問題３　次の語句のなかから二つを選んで解説しなさい。選択した問題番号を明記すること。

１．高等教育の漸進的無償化
２．教養主義と一般教育
３．アクレディテーション
４．大学の地域貢献

出典：バーナード・クリック著／関口正司監訳『シティズンシップ教育論 政治哲学と市民』法政大学出版局
２０１１年、２１７−２１９頁（原著：Bernard Crick *Essays on Citizenship* Continuum London 2000）

課題文２

大学入学者選抜は、各大学（専門職大学及び短期大学（専門職短期大学を含む。以下同じ。）を含む。以下同じ。）が、それぞれの教育理念に基づき、生徒が高等学校段階までに身に付けた力を、大学において発展・向上させ、社会へ送り出すという大学教育の一貫したプロセスを前提として、各大学が、学校教育法施行規則第 165 条の２の規定に基づき卒業認定・学位授与の方針（以下「ディプロマ・ポリシー」という。）や教育課程編成・実施の方針（以下「カリキュラム・ポリシー」という。）を踏まえ定める入学者受入れの方針（以下「アドミッション・ポリシー」という。）に基づき、当該大学において学修し、卒業するために大学への入口段階で入学者に必要な能力・適性等を多面的・総合的に評価・判定する[1]ことを役割とするものである。

このことを踏まえ、各大学は、入学者の選抜を行うに当たり、公正かつ妥当な方法によって、受験機会や入試方法における公平性・公正性の確保を図りつつ、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する。その際、各大学は、年齢、性別、障害の有無、国籍、家庭環境、居住地域等に関して多様な背景を持った学生の受入れに配慮する。

あわせて、大学入学者選抜は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。〔中略〕）における教育と大学における教育を接続する教育の一環として実施するものであり、高等学校における適切な教育の実施を阻害することとならないよう配慮する。[2]

出典：文部科学省高等教育局長通知「令和９年度大学入学者選抜実施要項」（2026 年 5 月 27 日）

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学習神経心理学

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　基礎的な心理学・神経科学的知見が、学習支援や教育実践に対してどのように貢献し得るか。貢献し得る基礎的知見の例を１つ挙げて説明しなさい。さらに、それが果たし得る貢献とその限界について、自身の考えを述べなさい。

問題２　数の処理に関わる脳領域を３カ所挙げ、それぞれの領域がどのような処理に関わっていると考えられているかを説明しなさい。
脳領域名は日本語または英語で書きなさい。

問題３　以下の１～５について日本語に訳し、その概要を説明しなさい。その上で、読解（Reading comprehension）と、１～５との関連を図に表しなさい。

１．Word recognition
２．Phonology
３．Vocabulary
４．Language comprehension
５．Morphosyntax

令和 9（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

発達臨床論

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1

インタビュー調査を実施するにあたり，研究参加者との関係性や，調査によって生じうる負担を踏まえ，研究者が考慮すべき研究倫理上の事項について整理して論じなさい。

問題 2

次の用語の中から 3 つを選び，簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。（それぞれ 100 字以内）

1 自己実現傾向（self-actualizing tendency）
2 構成概念妥当性
3 セルフスティグマ
4 社会的カモフラージュ
5 理論的飽和
6 二重共感問題（double empathy problem）

問題 3

自閉症の当事者でもある Raymaker 博士ら（2020）は，自閉症のある人々へのインタビュー調査などを通して，自閉症バーンアウトの特徴を整理し，その概念を定義した。この論文以降，関連する研究が活発に行われるようになり，その後，Raymaker (2022) は，その概念を以下のように説明している。

この概念定義を踏まえると，従来の子どもの臨床心理学的支援や発達支援はどのように再考されるべきだろうか。支援の効用とリスクの双方に触れながら，自分の考えを論じなさい。

【注】

overtaxed：過度の負担を強いられた状態　out of sync with：～と一致していない

【引用】

Raymaker, D. (2022, March 1). Understanding autistic burnout. National Autistic Society. https://www.autism.org.uk/learn/knowledge-hub/professional-practice/autistic-burnout

Raymaker, D. M., Teo, A. R., Steckler, N. A., Lentz, B., Scharer, M., Delos Santos, A., Kapp, S. K., Hunter, M., Joyce, A., & Nicolaidis, C. (2020). "Having all of your internal resources exhausted beyond measure and being left with no clean-up crew": Defining autistic burnout. Autism in Adulthood, 2(2), 132–143.

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

運動生理学

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　生活習慣病について、以下のすべての設問に答えなさい。

１．現代社会において生活習慣病および非感染性疾患が増加している背景として、どのような要因が関係しているか。具体的な疾患や病態の名称を１つ以上用いて、生活習慣との関連を含めて説明しなさい。

２．国民の生活習慣病（前の設問で取り上げた疾患・病態に限らず）を予防するために、研究活動および教育活動を通してどのようなアプローチが可能であるか、あなたの考えを述べなさい。

問題２　運動時の外呼吸について、以下すべての設問に答えなさい。

１．酸素摂取量の測定方法（原理を含む）および最大酸素摂取量の決定方法について詳しく説明しなさい。

２．運動時の肺換気がどのような機序によって調節されているか、詳しく説明しなさい。

３．VT（換気閾値）とLT（乳酸閾値）について詳しく説明しなさい。

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

健康行動疫学

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　生活習慣病について、以下のすべての設問に答えなさい。

１．現代社会において生活習慣病および非感染性疾患が増加している背景として、どのような要因が関係しているか。具体的な疾患や病態の名称を１つ以上用いて、生活習慣との関連を含めて説明しなさい。

２．国民の生活習慣病（前の設問で取り上げた疾患・病態に限らず）を予防するために、研究活動および教育活動を通してどのようなアプローチが可能であるか、あなたの考えを述べなさい。

問題２　健康行動科学領域でよく用いられる概念および指標について、以下のすべての設問に答えなさい。

１．ヘルスリテラシーとは何か。その詳細を説明しなさい。

２．学校教育においてヘルスリテラシーを育成するために、具体的にどのようなアプローチが可能であるか、あなたの考えを述べなさい。

３．様々な種類のリテラシーのうち一つを挙げ（ヘルスリテラシー以外の〇〇リテラシー）、その詳細について、ヘルスリテラシーとの違いを含めて説明しなさい。

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育思想

（２５０点満点）

以下の問題１～３に答えなさい。

問題１　次の２～３頁に掲げた文章を読み、次の１～３の問いに解答しなさい。

１．傍線部①について、「この問題は先の問題と対称形に見えるかもしれませんが、そうではありません。」とあるが、それはどういうことか説明しなさい。

２．傍線部②の「カセット効果」とはどういうものか。あなたの研究分野で使う用語を具体例としてあげながら説明しなさい。

３．傍線部③で、著者は、「このような日本的展開自体に関心を持つことが必要だ」と述べているが、ここでいう「日本的展開」とはどういうことか。また、こうした著者の主張があなたの研究にどのような示唆を与えうるか、具体的に論じなさい。

（苅谷剛彦『日本人の思考―ニッポンの大学教育から習性を読みとく』ちくま新書、二〇一五年、六九―七五頁）

問題２　次の史料イ～ハは、日本の教育関連法令から学校における体罰に関する規定を抜粋したものである。これを読んで、あとの１～２の問いに答えなさい。

イ．（第一次）教育令（1879 年）第 46 条

凡学校ニ於テハ生徒ニ体罰殴テ或ハ縛スルノ類ヲ加フヘカラス

ロ．（第三次）小学校令（1900 年）第 47 条

小学校長及教員ハ教育上必要ト認メタルトキハ児童ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得但シ体罰ヲ加フルコトヲ得ス

ハ．学校教育法（1947 年）第 11 条

校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、監督庁の定めるところにより、学生、生徒及び児童に懲戒を加えることができる。但し、体罰を加えることはできない。

１．史料イ～ハを比較して、どのようなことが読み取れるか、論じなさい。

２．次の史料は、『児童懲戒権の限界について』（1948 年法務庁）からの抜粋である。空欄①および②に入る適切な語句を答えなさい（ただし、いずれも漢字で、①は 2 文字、②は 5 文字である）。

学校教育法第 11 条にいう「体罰」とは、懲戒の内容が身体的性質のものである場合を意味する。すなわち、(一) 身体に対する（ ① ）を内容とする懲戒―なぐる・けるの類―がこれに該当することはいうまでもないが、さらに（二）被罰者に（ ② ）を与えるような懲戒もまたこれに該当する。たとえば、端座、直立等、特定の姿勢を長時間にわたって保持させるというような懲戒は体罰の一種と解せられなければならない。

問題３　次の①～⑤の人物について、それぞれの生没年の組合せとして適切なものを a ～ e より選択し、その記号を解答したうえで、各々の教育思想に関して説明しなさい。

① ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチ (Johann Heinrich Pestalozzi)

② ジョン・ロック (John Locke)

③ エミール・デュルケーム (Émile Durkheim)

④ ジャン＝ジャック・ルソー (Jean-Jacques Rousseau)

⑤ ニコラ・ド・コンドルセ (Nicolas de Condorcet)

（生没年の組合せ）

a. 1632 年生～1704 年没

b. 1712 年生～1778 年没

c. 1743 年生～1794 年没

d. 1746 年生～1827 年没

e. 1858 年生～1917 年没

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育方法学

（２５０点満点）

以下の問題１～３に答えなさい。

問題１　次の２～３頁に掲げた文章を読み、次の１～３の問いに解答しなさい。

１．傍線部①について、「この問題は先の問題と対称形に見えるかもしれませんが、そうではありません。」とあるが、それはどういうことか説明しなさい。

２．傍線部②の「カセット効果」とはどういうものか。あなたの研究分野で使う用語を具体例としてあげながら説明しなさい。

３．傍線部③で、著者は、「このような日本的展開自体に関心を持つことが必要だ」と述べているが、ここでいう「日本的展開」とはどういうことか。また、こうした著者の主張があなたの研究にどのような示唆を与えうるか、具体的に論じなさい。

（苅谷剛彦『日本人の思考　ニッポンの大学教育から習性を読みとく』ちくま新書、二〇二五年、八九―七五頁）

問題２　コンピテンシー・ベースの立場から「『学ぶ』とは学び方を学ぶことである。学ぶことの目的はもっと上手く学べるようになることである」と言われることがある。この意見に対するあなたの立場を明示し、コンピテンシー・ベースの学校教育において教師の果たすべき役割を論じなさい。

問題３　次の５つの用語のうち、２つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

１.実質陶冶
２.生活単元・問題解決学習
３.一般から特殊へ
４.PCK
５.モデレーション

令和９（2027）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

乳幼児発達論

（２５０点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題１　研究が現場の課題解決や現象理解に役立たないという「教育心理学の不毛性」と呼ばれる問題が、しばしば心理学界で取り上げられてきた。この問題をどのように考え、解決していくために研究者に求められることは何か、あなたの考えを述べなさい。

問題２　以下の６つの用語から３つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

（１）ゲシュタルト心理学（Gestalt psychology）
（２）遊びの余暇論（Theory of play as leisure）
（３）頭足人画（Tadpole）
（４）ライフサイクル論（Life cycle theory）
（５）脱中心化（Decentralization）
（６）児童虐待（Child abuse）

問題３　「0 歳から保育所に預けると親子関係に悪い影響がある」という言説に対し、発達心理学や保育学の研究知見に照らして自身の意見を述べなさい。